

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号 【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援

施策の内容 働き続けたい女性が能力を発揮し、生き生きと働けるよう、女性の能力開発やネットワークづくりなどを支援します。

76		数値目標	《指標》働く女性向け交流会の開催回数と参加者数					目標値
			H28	H29	H30	H31	H32	
担当課	人権課男女共同参画室	—	(年0回) (年0人) 年0回 年0人	(年1回) (年7人)	(年1回) (年10人)	(年2回) (年20人)	(年2回) (年30人)	年2回 年30人
H29 事業計画								
H29事業計画に関する具体的な目標								
H29 事業実績								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題								

77		数値目標						目標値
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	
H29事業計画	①従業員の育成に取り組む企業を対象とした助成を実施し、利用促進に努める。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①産業振興支援補助金の補助メニューのひとつである「人材育成」について、企業にPRし、女性を含めた従業員の育成について支援する。							
H29事業実績	産業振興支援補助金「人材育成」補助メニュー利用事業者総数 39社 女性を対象にした人材育成 15社 28人 うち、技術系の資格試験・研修受講者 7社 18人 リーダー研修等受講者 1社 3人							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	女性を対象にした人材育成について多く支援できた。また、職域拡大（技術系資格）や女性登用（リーダー研修）に取り組む事業者も見られ、労働環境の整備について一定の成果が得られた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	引き続き支援に取り組む。							

施策の内容	子育て、介護などにより離職した女性の再就職、起業・創業などの支援を行います。						
-------	--	--	--	--	--	--	--

78		数値目標						目標値
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	
H29事業計画	①企業合同就職面接会を開催し就労支援に取り組む。 ②かがわ産業支援財団と連携し、創業にかかる相談を含め、経営上のあらゆる相談に対し専門員が対応する「よろず丸亀サテライト」を実施する。 ③創業後間もない方の販路開拓に対して助成支援を実施する。 ④創業支援各関係団体と連携し、創業支援体制を構築する創業支援事業計画を策定し、フォローアップを図る。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①「定住自立圏域就職面接会」を7月に開催し、就労支援に取り組む。 ②「よろず丸亀サテライト」を毎月1回市内で開催する。 ③産業振興支援補助金の補助メニュー「創業」について企業に周知、利用促進を図る。 ④「創業支援事業計画」を年内に策定し、創業相談の充実を図る。							
H29事業実績	①「定住自立圏域就職面接会」を7月6日に開催。 参加事業所 58社 参加求職者数 31名 うち、女性の求職者数 9名 ②「よろず丸亀サテライト」毎月1回、計12回実施 女性の利用者 3件 ③産業振興支援補助金「創業」補助メニュー利用事業者総数 10社 うち、女性の創業者 4社 ④「創業支援事業計画」を平成29年度に策定。 創業支援事業計画に基づく創業相談件数 29件 うち、女性の創業相談件数 6件 うち、実際に創業した女性起業家 4名							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	女性の起業促進に一定の成果が得られた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	創業支援に関しては、創業後、事業が軌道に乗るまでが創業者にとって喫緊の課題であり、創業後の販路開拓について引き続き支援していく必要がある。また、就職面接会に関しては、労働者数の減少に伴い、年々参加者数も減少しており、なかなか採用に繋がらない状況が続いているため、事業実施の見直しが必要である。							

施策の内容	働きたい女性、働く女性の悩みや困りごとなどの解消につながる相談事業を実施します。							
	79	数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・市ホームページで、ハローワークのマザーズサロンや、仕事と育児・介護の両立のために役立つ情報を発信。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・マザーズサロン担当者の話も含めて発信するなど、マザーズサロンが気軽に相談できる場であることを1回以上周知する。 ・市ホームページで発信する際に、育児や介護の情報とリンクさせる。							
H29事業実績	・市ホームページで、「子育てしながら働きたい方を応援」としてマザーズコーナーを紹介。様子が分かるようマザーズコーナーの写真や利用状況も掲載した。また子育て情報、再就職支援サイト等をリンクさせた。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	これまで男女共同参画室が発信するホームページではマザーズコーナーのことを掲載していなかったため、市民に情報提供する窓口の一つとすることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	引き続き、ホームページやフェイスブック等で情報提供していくと同時に、情報を必要としている人に直接チラシなどを渡せる機会をつくる必要がある。							

	80	数値目標						
担当課	産業振興課(産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	①企業訪問時において、働く女性の実態やニーズの情報収集を図る。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①企業訪問時において、働く女性の実態やニーズの情報収集を図る。							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度は256社訪問。 ・経営上の課題として、販路の停滞を挙げる企業が最も多く、次に人手不足が多い。 ・訪問企業の4割が人材を募集中であるが採用までは至らないケースが多く占める。 ・建設業や製造業、専門的サービス業の企業において、女性の職域拡大（技術的資格や研修受講の奨励）に取り組む事業所も見受けられる。 ・介護サービス業においては、女性登用（管理者や責任者養成研修受講の奨励）に取り組む事業所が見受けられた。 ・小規模事業者においては、一族経営の組織構成が多いため、代表者の妻や娘など、女性が経営上、重要なセクションを担っているケースが多い。 ・中小企業においても、親族ではない女性社員が部長に登用されているケースも4社確認できている。 ・その他、介護サービス業や保険代理業、サービス業・小売業では女性社長が多く見られる。 ・大企業においては、企業内保育所を設置し、女性活躍を推進する企業も見受けられる。 							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	企業の現状を一部ではあるが把握できた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	企業訪問の目的は、販路開拓や人材育成・確保、経営改善、事業承継、設備投資、IT化促進など多岐に渡る経営上の課題やニーズの聞き取りと、市の支援補助金や相談事業、関係機関の支援策の紹介や企業と支援策のマッチング、聞き取ったニーズの施策反映を第一義としている。新たな経営課題や支援施策が年々増加している中、限られた面談時間ですべてを聞き取る、また伝えることは難しい状況である。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【1】 女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援
----------	----------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	ハローワークで取り組んでいる、子育てをしながら就労希望のある母親に対して「マザースコーナー」について情報発信をおこない、支援をすることができた。
産業振興課長 (産業観光課長)	A	事業計画に基づき、産業振興支援補助金の、女性を対象にした技術系の資格試験や、リーダー研修等の受講又、「創業」補助メニューが活用されると共に、「定住自立圏域就職面接会」の実施、「よるず丸亀サテライト」の開催、更に「創業支援事業計画」に基づく創業相談を女性の創業希望者から受ける等、女性の就職・再就職、継続就労、起業・創業などのための支援を行った。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	企業側の努力だけでなく、出産や育児で退職する人をなくすために何が出来るか、地域も家族も考える仕組みづくりに取り組むことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受け
ることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進
----------	---------------------------

施策の 内容	性別を理由とする採用、配置、昇格などにおける差別的取り扱いやセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなどが行われない職場づくりを促進します。							
	81	数 値 目 標						
担当課	職員課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	<p>・現在、採用・人事異動については、性別に関係なく実施しているが、引き続き女性職員の管理職への登用についても、女性活躍支援研修など、フォローアップをしながら積極的に進める。また、各種ハラスメントのない職場づくりについては、安全衛生委員会等の活動を通じて、全庁的な取り組みとして啓発していく。</p>							
H29事業計画に関する 具体的な目標	<p>①女性活躍支援研修の実施（80名程度）。 ②予め昇任後に必要となる知識やスキルの研修を受講させるステップアップ研修を設定し、派遣する（女性リーダーのためのマネジメント研修など）。</p>							
H29 事業実績	<p>これまでの女性リーダーのためのマネジメント研修等に加え、女性活躍支援研修を開催し、70名の参加を得た。また、セクシュアルハラスメントだけではなく全般的なハラスメント対策として、規則及び規程の改正を行った。</p>							
目指すまちの姿 に対して、事業実施により得られた効果	<p>女性の管理職への登用や、働きやすい職場環境づくりに資する下地作りができたと考えている。</p>							
事業の実施状況を踏まえた課題	<p>登用に関する不安感は依然大きいと考えられるので、引き続き女性活躍支援研修に取り組んでいくことや、ハラスメントが無く働きやすい職場環境づくりに取り組んでいきたい</p>							

82		数値目標	《指標》セクシュアル・ハラスメントに対する取組について「特に何も行っていない」と回答した企業の割合 ※()は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H27	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
				45.2%	—	—		(20.0%)	
H29事業計画	①男女共同参画推進研究会の今年度の活動として、市役所におけるハラスメントの防止に取り組む。 ②マタニティ・ハラスメント防止などについて、企業向けに情報発信を行う。								
H29事業計画に関する具体的な目標	①市職員を対象としたアンケートにより現状を把握し、職場環境の改善に向けた提案を行う。 ②「ワーク・ライフ・バランス通信」による情報発信1回。市ホームページによる周知1回以上。								
H29事業実績	①男女共同参画推進研究会で、市職員を対象としたハラスメントに関するアンケートを実施し、さらにより詳しい事例や被害者が望む対策を探るための追加アンケートを実施した。結果から見えてきた課題を受け、ハラスメントの防止に向けた提案を本部会、幹事会にて行った。 ②「ワーク・ライフ・バランス通信」により、育児・介護休業法の改正について情報発信を行った。								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	市役所内の全職員にアンケートを実施したことにより、市役所職員のハラスメントに対する意識の向上につながった。								
事業の実施状況を踏まえた課題	ホームページやメール配信、瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会からの情報発信などにより、企業に対する啓発を充実させることが課題である。								

83		数値目標						
担当課	産業振興課(産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	①改正育児・介護休業法や育児・介護の両立支援など、国や県の制度についてホームページ等に掲載し、企業に情報提供を行う。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①市産業振興課の事業者向けホームページ上で育児・介護の両立支援制度を常時、継続して掲載し情報提供を行う。							
H29事業実績	市産業振興課の事業者向けホームページ内に、育児・介護の両立支援制度について掲載し、企業への啓発に努めた。							
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	事業者へ育児・介護の両立支援制度について知ってもらう機会が作れた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	産業振興支援補助金や企業訪問と連動して、全体的なニーズ把握と支援が必要である。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【2】 企業などにおける男女雇用機会均等対策の推進
------	---------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
職員課長	B	女性活躍支援研修を行ったことで、管理・監督職登用を前向きにとらえる職員が増えたことに加え、ハラスメント対策の拡充の効果が徐々に出るものと期待している。
人権課長	C	市役所においては、ハラスメントに対するアンケート調査や、指針の作成、相談体制の充実などその取組みが進められているが、企業の取組みはまだまだ進んでいない。
産業振興課長 (産業観光課長)	B	性別を理由とする採用、配置、昇格などにおける差別的取り扱いやセクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなどが行われない職場づくりを促進するため、事業計画に基づき市産業振興課の事業者向けホームページ内に、育児・介護の両立支援制度について掲載し、企業への啓発に努めた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	企業に働きかける各担当課が個別に調査・研究するのではなく、庁内横断的な取り組みをしながら、効果的な働きかけをしていくよう望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【3】 女性の職域の拡大
------	--------------

施策の内容	建設業、造船業、運輸業などの女性の参画が進んでいない業種において、女性の就業と定着を促進します。
-------	--

84		数値目標						目標値
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	
H29 事業計画								
H29事業計画に関する具体的な目標								
H29 事業実績								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題								

85		数値目標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	①職場環境の整備に取り組む企業に対し助成（産業振興支援補助金（職場環境改善））支援する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①産業振興支援補助金の補助メニューのひとつである「職場環境改善」において、女性登用や女性活躍を推進する取り組みにかかる経費を補助対象に加え支援する。							
H29事業実績	産業振興支援補助金（職場環境改善）利用件数：年1件 内容は、中讃勤労者福祉サービスセンターへの新規加入であり、女性活躍の取組みにかかる利用企業はなかった。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	補助金のうち職場環境改善メニューの利用はなかったが、人材育成メニューにおいて、建設業や製造業において、女性の職域拡大（技術的資格や研修受講の奨励）に取り組む事業所も見受けられ、間接的ではあるが効果が見られた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	慢性的な人材不足の中、女性のみならず男性の人材確保も苦慮している状況である。また、建設業・製造業者への聞き取りの中で、優秀な人材は県外の大手企業に持って行かれ、地元中小企業の技術職への就職を希望する県内学生が、男性・女性問わず皆無に等しい状況である。特に、女性に関しては工業高校に在籍する段階からいないため、学生や子どもの段階で職業観の醸成に取り組まないと新たな女性採用は難しい状況である。							

施策の内容	市役所において男性中心の職種、職場と考えられてきた分野でも、平等な取り扱いと成績主義の原則に基づき、女性の採用、登用を行います。							
86		数値目標						
担当課	職員課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・男女の区別なく採用や登用を実施するとともに、市職員としてのキャリアデザインを支援する研修を行う。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・キャリアデザインに資する研修に派遣する（一人ひとりが輝く働き方応援講座など）。 ・女性活躍支援研修の実施。							
H29事業実績	キャリアデザインに資する研修として「一人ひとりが輝く働き方応援講座」に3名が参加した。女性活躍推進研修には、延べ70名が参加し、参加した人のアンケートでは自身のキャリアアップを前向きにとらえる人が増加した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	研修の結果、キャリアデザインやに対する関心を高められたとともに、登用に関する不安が減ったことで、キャリアアップについて前向きな気持ちを持てるようになったと考えている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	研修による前向きな気持ちを維持できるよう、フォローアップ研修を始めとして、女性活躍支援研修に取り組んでいきたい。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【3】 女性の職域の拡大
----------	--------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
職員課長	B	女性活躍支援研修を行ったことで、管理・監督職登用を前向きにとらえる職員が増え、自身のキャリアへの意識が高まったと考えている。そうした職員がロールモデルとなることで、女性の職域拡大や登用につなげていきたい。
人権課長		—
産業振興課長 (産業観光課長)	C	建設業、造船業、運輸業などの女性の参画が進んでいない業種において、女性の就業と定着を促進するため、事業計画において産業振興支援補助金の職場環境改善の利用を計画したが、中讃勤労者福祉サービスセンターへの新規加入等、女性活躍の取組みにかかる利用企業はなかった。今後は、企業訪問と連動して、全体的なニーズを把握した上での支援が必要である。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	職場環境改善の支援情報などを提供しながら、こうすれば女性からの応募が増えるといった発想を持ち企業支援などをされるよう望む。

※担当課長、審議会による評価基準

- A : 目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。
- B : 目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。
- C : 目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちな姿》
 就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受けることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策番号	【4】	農林水産業、商工業などの自営業に従事する女性への支援
------	-----	----------------------------

施策の内容	農林水産業における男女共同参画意識が確立するよう、学習機会の提供、働きやすい環境の整備などの支援を行います。
-------	--

87		数値目標	《指標》女性認定農業者数 ※()は当該年度の目標値					目標値	
担当課	農林水産課		H27	H29	H30	H31	H32		H33
			10人	(12人) 14人	(12人)	(13人)	(13人)		(14人)
H29 事業計画	①農林水産業における男女共同参画意識が確立するよう、農業簿記等の学習会を広く周知し、学習機会の提供により、農業経営における地位の向上を目指す。 ②男女が働きやすい環境への整備を支援し、女性認定農業者の育成と家族経営協定の締結を推進する。								
H29事業計画に関する具体的な目標	①農業簿記等学習会の開催により学習機会の提供を行う。 ②女性認定農業者1人増を目指す。								
H29 事業実績	①農業簿記等学習会 31回開催 ②女性認定農業者 2人増								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	学習会への参加により農業簿記等の知識を深め、女性自ら農業経営に参画することで、農業分野における地位の向上が図られた								
事業の実施状況を踏まえた課題	農業分野全体から見ると男女共同参画意識の確立は十分とは言えず、関係機関と連携して普及啓発に努める								

施策の内容	関係団体と連携し、商工業など自営業の女性のネットワーク構築や学習機会の提供を行います。							
88		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画								
H29事業計画に関する具体的な目標								
H29事業実績								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果								
事業の実施状況を踏まえた課題								

89		数値目標						
担当課	産業振興課(産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	①丸亀商工会議所や丸亀市飯綾商工会と連携し、自営業に従事する女性の情報収集や支援制度の周知を図る。							
H29事業計画に関する具体的な目標	①商工会議所・商工会を通じて、自営業に従事する女性の情報収集を図り、各種支援制度の周知を図る。							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所および商工会に産業振興支援補助金のパンフレットを配布。また、総会等で周知してもらった。 ・丸亀商工会議所 全会員数 1,573社 うち、女性が代表者と思われる事業所 約200社 女性代表者率 12.7% 女性部の会員数は 34人(従業員の方もふくむ) ・丸亀市飯綾商工会 全会員数425社 うち、女性が代表者の事業所 50社 女性代表者率 11.8% ・女性代表者の会員事業所のうち、産業支援補助金利用企業 6社 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	女性経営者の会員事業所に対し、一部ではあるが支援することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	丸亀商工会議所と連携して実施している「創業支援事業計画」に基づく創業相談事業を通して、起業される女性の自営業者も増加していることから、創業後、事業が軌道に乗るまで、創業後の販路開拓について引き続き支援していく必要がある。							

目標5 男女がともに生き生きと働き続けられる労働環境の整備

《目指すまちの姿》

就業の形態やニーズが多様化する中、働く場において男女が性別による不利益な取り扱いを受け
ることなく、安心して生き生きと働けるよう、労働環境が整備されています。

施策 番号	【4】 農林水産業、商工業などの自営業に従事する女性への支援
----------	--------------------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長		—
産業振興課長 (産業観光課長)	B	商工業などの自営業に従事する女性への支援として、商工会議所および商工会と連携し、産業振興支援補助金のパンフレットを会員事業所へ配布頂き、総会等で周知に努めて頂いた。また今後は、商工会議所の会員以外の自営業に従事する女性への支援も含め、関係団体と連携しネットワークの構築等を検討いたしたい。
農林水産課長	B	本年度の事業を通して女性農業者自身に意識の変化が感じられ、男女共同参画への理解が進んできていると思われる。しかしながら農業分野全体をみると男女共同参画の必要性について浸透しているとは言いがたく、今後とも継続して誰もが働きやすい環境への整備を支援していく必要がある。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	若い人材を獲得する潮流を作るよう、アピール方法を再検討することを望む。弱みと考えるものでも自らの強みと感じるような発想の転換が必要。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。